

## 第53回 安全大会 会長挨拶（2025年6月30日）

第53回安全大会の開会にあたり、ご挨拶を申し上げます。

会員の皆さまにおかれましては、日頃より、当協会の事業運営にご理解、ご協力をいただき、誠に有り難うございます。

また、本日はご来賓として、大阪労働局 労働基準部様、国土交通省 近畿地方整備局営繕部様、経済産業省 中部近畿産業保安監督部 近畿支部様、大阪府 都市整備部 住宅建築局様をはじめ、多くの方々にご多忙の中、ご臨席を賜っております。誠に有り難うございます。高いところからではありますが、厚く御礼申し上げます。

現在、建設業界におきましては、トランプ政権の相互関税の影響が懸念されるようですが、分野・用途で濃淡はあるものの、全体的な需要は高く、市場における設備投資は総じて多い状況にあります。

しかしながら、私たちが担う役割が、このように益々大きくなる中であっても、業界全体で就業者の減少が続いており、担い手の確保が必須となっています。

従って、昨年の担い手三法改正を踏まえ、「働き方改革の促進」や「工期の適正化」とともに、「処遇改善」、「発注者の責務の明確化」など、建設業が抱える課題に向き合っていくことが大切なことだと思います。

今、私たちは、これらの事に対して、これまでの環境を変えられるチャンスと捉え、働き方改革をさらに推進し、将来を担う若い働き手が「やりがい・働きがい」を感じ、「誇り」を持って働ける職場環境を作っていかなければなりません。皆さんの職場でも、引き続き、課題解決への積極的な取り組みをお願いいたします。

そして、職場環境の整備を進めていく上で基本となるのは、やはり安全と健康の確保であります。

今年度の全国安全週間は7月1日から7日迄を本週間とし『**多様な仲間と 築く安全 未来の職場**』のスローガンのもと、展開されます。

急ぐ、焦る、怠るという行動がヒューマンエラーにつながります。安全基準や作業手順など、基本ルールを遵守するうえで、お互いを補うための「相互注意・相互確認」を徹底していくことが大切になります。

**自分の安全は自分で守る、そして仲間や家族の幸せを守る**ためにも、しっかりとコミュニケーションを取って、安全第一で作業を進めていきましょう。

そして、引き続き、業界として、更なる安全意識向上への努力を積み上げていきましょう。

また、**今月から労働安全衛生規則が改正され、熱中症対策として、早期発見と迅速・適切な対応により、重篤化を防止するための体制整備が義務付け**られました。それぞれの職場において、熱中症対策を確実に実行してもらいたいと思います。

本日は「安全衛生 優良事業場」として、28社を表彰させていただきます。これは、現場に関わる皆さん一人ひとりが、安全と品質の確保に取り組み、無災害に尽力された成果であ

り、その努力に対し深く敬意を表します。引続き、災害の撲滅に向けた安全再優先の取り組みを継続されますようお願いいたします。

最後になりますが、これから厳しい夏場を迎えます。熱中症はもとより、日常の健康にも充分ご留意頂きたいと思います。

そして基本ルールに徹し、しっかりとした安全意識と行動で、自分達の安全な職場を築いて頂きたいと思います。

会員企業各社の皆さんの健康と安全を祈念し、第53回安全大会の開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。

ご健康で、ご安全に！